



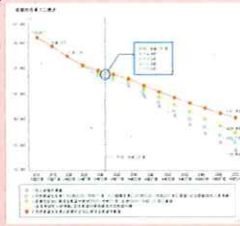
人口流出を止めて地域の事業を活性化させるには

山口県立岩国高等学校

課題 長期的将来人口推計：人口減少

人口推計：このまま推移した場合
2020（令和2）年 12万9,125人
2032（令和14）年 11万 540人
☆ 12年で1万8,585人 減少

十将来の子育て世帯の減少
更なる人口減少により市の活力低下



第3次岩国市総合計画 p35



提案 人口流出を抑制→経済の活性化

- 1 **しよくのテーマパーク（職業体験+食+趣味）の開催**
・岩国レンコン栽培（農業体験）・醸造体験・高森牛（飼育体験）
・岩国寿司（料理体験）・清流線（車掌体験）・カヌー体験・釣り
 - 2 **空き家を生かして移住体験（気軽に移住）**
 - 3 **岩国LRT（次世代型路面電車）の運行**
錦帯橋空港-錦帯橋-新岩国駅 など 生活・観光を便利に！
- ★SNSを使って情報を届ける
→ 経済が活性化 → 仕事が多様化 → 人口流入！



情報の収集 同様の課題をもつ市の成功事例を調査 → 石川県小松市

多様な働き方が可能な条件がそろったトップ10

順位	都市	総人口	総合点
1	石川県小松市	10万8265人	67.0
2	鳥取市	18万6960	66.0
3	富山県高岡市	17万0493	65.5
4	愛媛県西条市	10万8961	64.5
5	長野県飯田市	10万0702	64.0
6	青森市	28万1232	63.5
7	金沢市	45万2220	62.5
8	福井市	26万3152	62.5
9	新潟県上越市	19万1197	62.0
9	滋賀県彦根市	11万2975	62.0
9	福島県会津若松市	11万8322	62.0

(注)総合点は100点満点。平均通勤時間や地域内の経済循環率、公営集積LANスポット数などの8指標を指数化した上で算出した。

街の幸福度&住み続けたい街トップ10（石川県内）

順位	年	自治体名	満足度	得点	回答数
1位	5位	かほく市	61.0	66.1	251
2位	3位	小松市	60.9	66.1	625
3位	6位	白山市	59.7	65.8	706
4位	4位	吉沢町	59.6	65.8	3,138
5位	2位	野々市市	59.4	65.7	378
6位	7位	穴水町	59.0	65.6	282
7位	10位	河北郡内灘町	55.6	64.7	166
8位	9位	河北郡津軽町	54.8	64.5	233
9位	-	七尾市	53.2	64.1	274
10位	8位	野村町	52.1	63.8	119

日経新聞版「多様な働き方」10万人都市に潜在力 首位は石川・小松
日経・東大調査 職住一体が脚光 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GE21BT00R20C21A1000000/?msockid=1a423f7ba3906e7a0d3f2b8ca2b26f8e> (2021.8.21)

いしかわスタイル「石川県の『街の幸福度&住み続けたいランキング2024』が発表!」
https://ishikawa-style.com/ishikawa_kouhukudo2024/ (2024.11.10)

石川県小松市の取り組み 〈経済対策の3つの柱〉



雇用と生活を守る

・シニアの活躍・人材の育成・指導を地域全体で進める仕組みづくり
・先住の定住促進制度や空き家対策



事業の持続と継続を

・ビジネス・教育・観光等でのグローバル交流と小松ファンを拡大
・小松にしかできない事業の取り組み



次へのレベルアップ

・新しい社会・消費スタイルに対応したビジネスへの転換の促進
・里山・水郷エリアの魅力アップと新たな拠点づくり

参照：小松市総合政策部国際&経営政策課（2020）、「こまつ創生戦略 PART 2」、小松市

分析 → 提案 → 今後

岩国市と小松市の比較

岩国市	小松市
海：瀬戸内海 山：中国山地 人口12.7万人	海：日本海 山：白山 人口10.6万人
産業：製造・建築 人口減少：多	産業：機械・繊維 人口減少：少
人口密度：少	人口密度：多

拠点を結ぶLRTを走らせる！

錦帯橋空港-錦帯橋-新岩国駅 など 利便性向上！

岩国高校文化講演会
早稲田大学 森本章倫 教授
「未来世代に向けた都市と交通」でLRTについて教えていただきました。



私たちが考える 岩国市に関するSWOT分析

☆山口銀行の方から「SWOT分析」を教えてくださいました。

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ○交通網（空港・新幹線等） ○豊かな自然（瀬戸内海・錦川・中国山地） ○観光資源（錦帯橋・城山・神楽） ○農業（岩国レンコン） ○産業（醸造業） ○米軍基地（多様な文化） 	<ul style="list-style-type: none"> ○広域な山間部 ○人口減少 ○若者の流出 ○岩国の魅力を発信できていない ○空き家が多い
外部環境	○インバウンド市場の回復	○過去に豪雨災害が発生（平成30年7月）

SWOT分析から提案へ！

- 農業×農業従事者減少
レンコン収穫体験
高森牛飼育体験 など
市外の人が体験→移住
- 💡 「しよくのテーマパーク」を開催
- 💡 「空き家で移住体験」
- 魅力を発信できていない
- 💡 SNSで情報発信
→ 若者にも魅力を伝える

今後の取組（予定）

- 1 「しよくのテーマパーク」の検討内容を具体的に考え文化祭で実現？
- 2 岩国市に転入した方にインタビューし、転入の理由を解明し、移住者の増加につなげる。

岩国高校普通科1年生 総合的な探究の時間 キャリアセミナー

<キャリアセミナーの目的> 地域の課題や解決策を考えることで、社会への関心を高めるとともに、グループでの話し合いや発表をとおして、思考力、判断力、表現力を育みます。

- 1 普通科1年生（5クラス）が、希望する12の職業分野に分かれて、講師の方の講義を受けます。
- 2 講義で学んだことをもとに、課題と解決策について、分野別のグループごとで ディスカッションを重ね、意見をまとめます。
- 3 グループで発表の資料をまとめ、講師の方の前で発表します。
- 4 講師の方から講評をいただき、今後の探究活動へ役立ちます。



分野別講演会



提案に対する御指導

<参考文献>

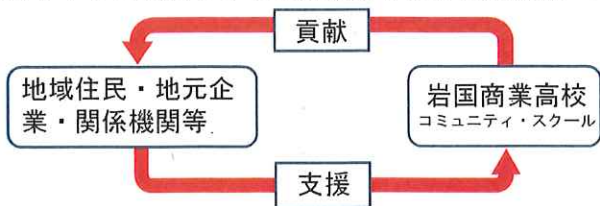
- 1 岩国市総合政策部政策企画課（2023）. 『第3次岩国市総合計画』. 岩国市.
- 2 小松市総合政策部国際&経営政策課（2020）. 『こまつ創生戦略 PART 2』. 小松市.
- 3 日経新聞版「多様な働き方」10万人都市に潜在力首位は石川・小松 日経・東大調査 職住一体が脚光
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0GE21BT00R20C21A1000000/?msockid=1a423f7ba3906e7a0d3f2b8ca2b26f8e>. (2024. 12. 20)
<https://career.nikkei.com/nikkei-pickup/ecd7dd240295ab66638afe1b4198d33ab2c0f418.jpg> (2021. 8. 21)
- 4 いしかわスタイル「石川県の『街の幸福度&住み続けたいランキング2024』が発表!」
https://ishikawa-style.com/ishikawa_kouhukudo2024/ (2024. 11. 10)



地域と連携したビジネス教育推進による産業人材育成プロジェクト

山口県立岩国商業高等学校

人づくりと地域づくりの好循環をめざした活動



◇スクール・ミッション◇

地元企業や行政機関等と連携・協働した実践的・体験的な教育活動や、ビジネスに関する課題を自ら考え、解決する学び等を通して、豊かな人間性や社会性、ビジネスマナーを身に付け、自ら考え行動し、創造的に課題を解決することができる、地域・社会や地域産業を担う人材を育成します。

1年生学校設定科目「地域学習」と2・3年生総合的な探究の時間を活用した探究的なキャリア教育～岩国市を学びのフィールドとして活用することで、地域に対する理解や愛着が深まります！

■ 1年生「地域学習」

岩国市でのフィールドワーク実施



■ 2年生「総探」

岩国市でのインターンシップ実施



■ 3年生「総探」

進学・就職に関する探究活動



企業のカーボンニュートラルの取組を学ぶ！→プラザ岩商における高校生の取組を企画・実行



デジタル・エデュテインメントでeスポーツを学ぶ！→プラザ岩商で「eスポーツ体験」を実施



地元お菓子メーカーと連携して開発したオリジナル商品「いもどらトツォ」→プラザ岩商で販売！



模擬株式会社「山口魅来(やまぐちみらい)」を運営し、県内の専門高校生開発商品のネットショップを開設！→プラザ岩商でも販売し大好評！



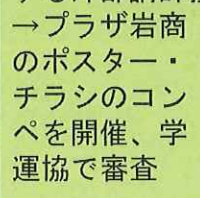
やまぐちハイスクールブランドプロジェクト



学校運営協議会におけるプラザ岩商の生徒企画プレゼンテーション及び委員との「熟議」→新しいアクションに対する大人からの真摯なアドバイス！



県内在住のプロのイラストレーターによるポスター及びチラシ作成に関する外部講師授業を実施！→プラザ岩商のポスター・チラシのコンペを開催、学運協で審査



販売実習「プラザ岩商」の実施

～岩国商業高校のビジネス教育の集大成

多様な他者との協働的な学びを通じて身に付けた、マーケティング力、簿記会計能力、情報処理能力、コミュニケーション能力、経済を読み取る力、ビジネスマナー等を推進。

ビジネス教育の特色を生かした地域貢献活動として地元の恒例行事となっている。地域に愛され地域とともにある学校づくりを推進。

第33回プラザ岩商
～岩商からあなたへ 真心こめた おもてなし～

2024年12月7日(土)・8日(日)

開店10時 閉店15時

場所 岩国商業高等学校

内容: 野菜・果物、洋菓子、和菓子、焼き芋、パン、花・植木、沖縄物産展、駄菓子、イベント

店舗情報

野菜・果物、花・植木、パン、洋菓子、和菓子、沖縄物産展、焼き芋、駄菓子

イベント: ビルフォト、焼肉・焼そば、お祭り、おまけ

【成果】・進学及び就職達成率100パーセント
・郷土への理解と愛着に根付いた地元志向の醸成
・ビジネスマナーの実践力の向上
・地域の担い手としての意識をもつ職業人の育成等

【活動の振り返りと次年度の新たな挑戦】
地域からの支援の在り方や学校の地域への貢献についてPDCAサイクルに基づいて改善を図り、地域連携の実践的な活動を継続する。

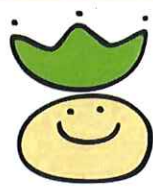


山口魅来によるカーボンニュートラル社会に向けた商品開発の挑戦

山口県立柳井商工高等学校

活動概要

令和2年から山口県の専門高校等は、学科の枠を越え11校9学科で模擬株式会社「山口魅来」を設立し、本校も参加している。商標登録した統一マークを使用して山口県の伝統工芸（柳井蒔、藍染、養蜂）を生かしたグッズ開発を行っている。今年度は山口県の地域資源である下松市笠戸島産の蜂蜜をテーマに、商工高校の技術知識を生かして地元小学校で出前授業を行い、児童と一緒にカーボンニュートラル商品を開発・販売し、地域ブランド化をめざす。



山口魅来統一ブランド商標



★グローバル事業G
田部っこクッキー



★食品事業G
缶詰 ドレッシング

模擬株式会社山口魅来設立

- 理念
- ①やまぐちの繋がりを大切にします
 - ②やまぐちの幸福と未来を創り出します
 - ③やまぐちの魅力を伝え、地域から愛されることを大切にします

- ★ グローバル事業グループ
- ★ 癒しCafé事業グループ
- ★ 食品事業グループ
- ★ 伝統工芸事業グループ(本校所属)

「山口県の高校生のパワーと地域資源を化学反応させ盛り上げます!!」

★ 伝統工芸事業グループについて

伝統工芸事業グループの取組の考え方
3つキーワード(伝統工芸、地域、専門高校連携)の強みを生かす



★ カーボンニュートラル社会とは

排出量 ± 0 吸収量

★ 高校生まちづくりサミットの開催

Q「カーボンニュートラルを説明できますか」
A「できる」 15% 認知度低い

カーボンニュートラル商品を開発しPRする

★ 伝統工芸事業グループの下松市笠戸島産蜂蜜の研究

地域資源を生かし、瀬戸内からの自然の恵み、地産地消、伝統的養蜂技術によるカーボンニュートラル

🔥 INPUT 授業で学ぶ、地域・企業から学ぶ



①商工高校で学ぶ ②養蜂講義(養蜂家) ③販売方法の講義((株)丸久) ④先進企業視察(山田養蜂場)

🔥 OUTPUT 商工生が学んだ知識・技術を生かす



⑤養蜂箱の製作 ⑥養蜂箱設置 ⑦採蜜成功 ⑧今年600本 ⑨ラベルデザイン考案

🔥 COLLABORATION 小学生と一緒に地域を盛り上げる



⑩児童が蜜蜂イラスト制作 ⑪ラベル貼り出前授業 ⑫瓶詰め蜂蜜完成 ⑬柳井クルーズホテル常設店舗 ⑭地域イベント販売

★ 探究学習による研究の外部評価

- 🔥 自分が描いた絵が商品になることはとってもうれしかったです。何より達成感が一番ありました。(児童)
- 🔥 地域の文化を広める、素晴らしい!企業化していることも素晴らしい!頑張ってください!(地域)



学校の跡地を有効活用 ～母校を使って地域交流～

山口県立熊毛南高等学校

1. きっかけ・目的

熊毛南高校が再編統合によって閉校になった後も、母校を残す方法を考えたいと思ったから

2. 提案

- ①子ども食堂の設置
- ②熊南直売所の設置・イベントの開催
- ③コワーキングスペースの設置

4. 地域の方々との熟議

① 子ども食堂の設置

1. 期待できる効果

- ◎災害時の避難場所になる
- ◎健康や食生活に良い影響を与える
- ◎子どもや親同士がつながるきっかけになる
 - ・十分な食事をとれる
 - ・保護者が安心できる
 - ・子どもが一人にならない
- ◎世代の違う住民の交流の場になる
 - ・孤立防止につながる
 - ・多くの人とコミュニケーションが取れる

2. 参考になりそうな自治体

- ◎千葉県大多喜町の旧老川小学校を使って作られた「老川みんな食堂」
- 地元団体「やまゆりの会」と株式会社良品計画が協力

② 熊南直売所の設置・イベント開催

1. 期待できる効果

- ◎広い敷地を有効活用できる
 - ・校舎内
 - イチジクを使ったジャムなど特産品の販売
 - フラワーアレンジメント体験、ハンドメイドの販売
 - 託児所も用意し、親世代や小さな子ども来やすくする
 - ・運動場
 - 子ども用遊具を設置して子どもも楽しめる

2. 参考になりそうな自治体

- ◎宮崎県西都市:旧西都商業高校の跡地に、肉の直売所を設置
- 焼肉もできる

③ コワーキングスペースの設置

1. 期待できる効果

- ◎学校だからこそその集中しやすい環境を活かし、勉強や、会社のテレワークとして活用できる
 - 仕事のはかどる
- ◎宿泊施設（熊南会館）を使えば長時間に及ぶ活動にも対応できる

◎雇用の創出

2. 参考になりそうな自治体

- ◎徳島県三好市
- 小学校を宿泊施設としてリノベーションしている
- ◎旧明倫小学校校舎…コワーキングスペースを設けている

3. 平生町の現状と課題

(1) 一人暮らしの高齢者数の増加

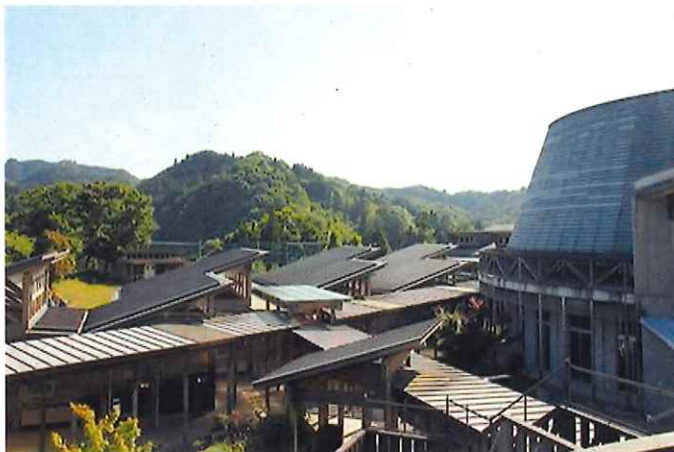
→現状一人暮らしの高齢者数は男女ともに増加傾向にある

【男性約231万人/女性441万人（R2の調査）】

→地域の人との交流の場を設けることで一人暮らしの高齢者の社会的孤立を防げると考えた

(2) 自習スペースが欲しい学生の需要

→校内アンケートの結果、自習スペースが欲しいと感じている学生が多いことが判明した



◎地域の方の交流の場になる

- ・生産・製作～販売期間を通して人との交流を広げることができる
- ・幅広い年齢層の関わりが自然と生まれる
- ・高齢者の社会的孤立を防げる



★ 実現のために必要なこと

- ◎行政や企業との連携
 - 資金集め
- ◎地域の住民・高校生の活動
- ◎町おこし協力隊（手伝いなど）
- ◎ボランティアによる支援

まとめ

- ・一つの建物に幅広い年齢層の人々が集まることで年齢関係なく地域との関わりが生まれ、平生町全体に笑顔が広がると思う。
- ・地域の方々との熟議を通して、様々な視点から平生町を考えることができた。



下松市を探究する ～現状と理想から導き出す課題の解決策～

山口県立下松高等学校

探究しようと思った動機

7月に行われた高校生参加の市議会で、下松市をより良くするために話し合いをしました。そこで学びをもとに、地域のためにできることをもっと深めて考えたいと思いました。

研究方法

下松市の**現状**と**理想**を挙げ、市をより良くするための解決方法を考える。

視点①

自分が体験した**ボランティア活動**などから考察する。



文化と環境についてクローズアップ

視点②

インターネットなどで調べた情報と自分たちの**高校での活動**を参考に考察する
人口についてクローズアップ



視点①：下松市の文化と環境

現状①

文化発信が弱い

- ・天王森古墳、埴輪、狐の嫁入り、破邪の御刀などの誇れる歴史や文化が下松市にあるのに、それらに触れる機会があまりない。

現状②

ゴミが多い



- ・特に登下校する時の路上のゴミが気になる。
- ・お菓子などのゴミが目立つように感じる。

理想

- ①文化に触れる機会を増やす。
- ②高校生を中心に清掃活動を行う。



それを実現させるためには…

高校と地域が連携した**ボランティア活動**が必要!!

そこで、参加したボランティア活動をご紹介します!

下松市でのボランティア活動

1. 園児とのふれあい体験学習

内容・保育園の一日を体験

感想・保育園児と高校生が接することは滅多にないのでお互いに良い刺激になったと感じた。
・保育園で働かれている職員の皆さんの様子を見学して、**自分の職業選択の幅が広がった。**

2. 第25回もちもちフェスタ

内容・餅つき、餅の成形作業、餅のパック詰め
・餅を使った料理を作り、販売する

感想・地域の人と関われる良い機会になった。
・「餅つき」という**日本の伝統的な文化**を学ぶことができたのと同時に、「もちもちフェスタ」という**下松市の伝統的な行事**も学ぶことができた。

伝統的な文化を継承することに繋がる

くだまつ市議会だより
No.186
令和6年12月1日号より



視点①のまとめ

これらの体験により、昔から受け継がれてきた文化や地域の方々に関わることができる方法の一つとして、**ボランティア活動**が挙げられます。

また、登校時に気になる路上のゴミですが、高校生が企画して清掃活動を実施すればよいのではないかと考えます。その活動を地域の方々とも協力して行えば、**地域との連携**も図れると思います。

視点②：下松市の人口

現状①

- ・令和3年から**人口減少**に転じている
- ・出生率は1.8で全国的に見れば**住みよい街**といえる

現状②

- 下松高校では
- ・**女子バスケットボール部**インターハイ出場
- ・**弓道部女子**インターハイ出場
- ・**美術部**笠戸島ウォールアート作成

人口を増やすために

- ①人口が**減少**している
- ②下松高校にはたくさんの**魅力**がある

高校の魅力を発信し下松市について知ってもらう

視点②のまとめ

【私たちにできること】

自分たちの**高校の魅力**について発信する

県内だけでなく**県外からの入学者**も増えてほしい

さらに**強みのある高校**になり、注目されるようになる

探究による気づきと今後の展望

自分たちの住む地域の**伝統**を学び、継承することができる

路上の清掃活動…現在、生徒会に提案中

ボランティア活動

地域の方々に関わることができ、コミュニケーション能力を身に付けるための**良い機会**となる

☆このように、生徒自らが行動することで地域がより良くなると思います。



伝統芸能を通じた地域の活性化とネットワーク作りに向けた提案

山口県立熊毛北高等学校

めざしたもの

- 地域との協働
- 世代を超えた学び合いによる資質の向上
- 伝統芸能を通じたネットワーク作り
- 新たな発想と表現の工夫



上級生が下級生に教える

課題の発見Ⅰ

地域の伝統芸能を存続させるために

1年目

情報の収集

- ・ 保存会の活動を知る
- ・ 糸あやつり人形芝居について学ぶ



保存会の指導

整理・分析

- ・ 後継者不足
- ・ 知名度の低さ



保存会の定例公演手伝い

まとめ・表現

- ・ 文化祭で中間発表
- ・ 熊毛地区総合文化祭で上演



熊毛地区総合文化祭で上演

課題の発見Ⅱ

伝統芸能を継承している仲間の情報やつながりを作るために

2年目

情報の収集

- ・ アンケート
- ・ 近隣の伝統芸能取材



伝える力について学ぶ



近隣の伝統芸能を取材

整理・分析

- ・ イベントの立案
- ・ 周南市文化振興課を取材



イベントのアイデアを出し合う

まとめ・表現

- ・ 小学生と伝統芸能交流
- ・ 学校ホームページに活動報告掲載
- ・ ふるさとCM大賞に応募



小学生と伝統芸能交流



鹿野高原豚をPR!

山口県立徳山商工高等学校

1. 研究の動機

「総合的な探究の時間」



地域と関わる活動
地域課題の解決に
取り組む

周南市の特産品の
認知度が
あまり高くない



特産品
(しゅうなん
ブランド)
の調査



リーダー商品
「鹿野高原豚」
に着目



鹿野ファームで
育てているハイポー豚

「鹿野高原豚」
をPRしよう!



2. 活動内容

- ①インターネット、加工品の販売店、飲食店で調査
- ②鹿野ファームさんへの工房見学をお願い
- ③工房見学・インタビューの実施

- ④PR方法の検討

▶幅広い年齢層に魅力を伝えるには?

- ⑤ポスターの作成、掲示

▶様々な角度からの紹介

▶多くの人の目に留まる掲示場所は?



- ・徹底された衛生管理
(エアシャワーなど)
- ・品質を保つための取り組み
- ・商品が発送されるまで

《ハム工房部門長
浮田さんへの
インタビュー》

- ・鹿野高原豚の魅力
- ・新商品の考え方
- ・苦労されていること
など



《ハイポーハム工房
見学の様子》



3. まとめ

- ①成果の確認

▶ポスター掲示後の反応を確認した

- ②活動を終えて

- ▶鹿野ファームの方の全面的なご協力のもと、活動を進めることができた
- ▶実際に、生産の場に足を運ぶことで、お客さんに良いものを届けようという思いを感じることができた
- ▶9月29日の「鹿野ファーム創業祭」に参加し、賑わっている様子を見ることができた

- ③今後の課題

▶私達の活動をきっかけに、次の世代へと活動が発展していけるようなしくみを作る



《完成したポスター》



工房見学
レポート

活動の主旨、
鹿野高原豚
の紹介

インタビュー
内容

料理を
作って
みた

ソレーネ周南
に行ってみて

イベント紹介

《ポスターの掲示場所》



学校HP



道の駅
「ソレーネ周南」内店舗

《引用サイト》

周南市ホームページ <https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/33/52850.html>

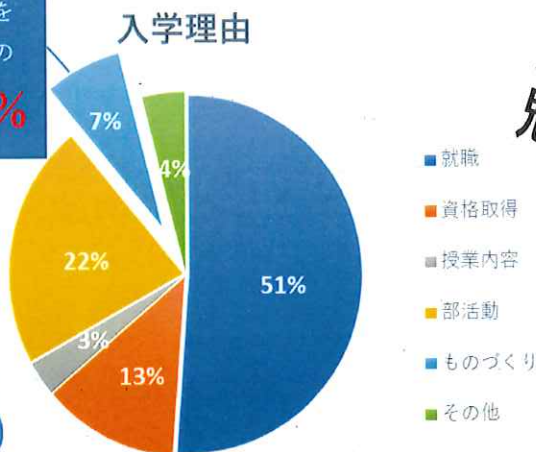
有限会社鹿野ファームホームページ <https://www.kanofarm.com/>

いらすとや <https://www.irasutoya.com>

背景 今の南工生は「就職したいだけ」「部活動がしたいだけ」が入学理由の生徒が増えており、学習意欲、ものづくりへの興味が低下しているため、この現状を改善したい。

現状

ものづくりに興味をもって入学した人の割合はわずか **7%**



南工生の約9割が入学時に、ものづくりの魅力に気づいていない!

仮説

3Dプリンタで『ビーダマン』を作って宣伝すれば南工にもものづくりに興味がある入学生が増えるのではないか。

1学期

3Dプリンタを活用するために

- ① Auto CADの説明書を作成
- ② 機械製図検定の課題を3Dプリンタで製作



地域連携

周南市役所
周南公立大学
の方の講義

アイデアの創出の仕方を学ぶ

2学期

南工にもものづくりに興味がある入学生を増やすために

- ① 『ビーダマン』の製作



結果



ビー玉の発射機構を作ることができた。

来年度以降、仮説が正しいかを調査していきたい。



介護ロボットを普及させるためにはどうすればよいか？

～問題点の洗い出しとその解決方法の探究～

山口県立防府高等学校

“将来、あなたを介護するのはロボット？”

ロボットなどを活用した社会的コストの削減（介護の負担軽減、作業の効率化）

Background

「科学技術」×「福祉」で課題解決

現在、要介護（要支援）認定者数は増加しており、サービス量の増加に伴い必要とされる介護職員数も増えている。しかし、介護人材は不足している。他方、Society 5.0を目の前にして、研究されている技術は多くあり、介護ロボット等も開発されている。私たちはこの「科学技術」と「福祉」をテーマに、介護用ロボットを普及させるためにはどうすればよいか、その問題点の洗い出しとその解決方法を探究した。

【普及が遅れている背景】

- ・開発されている技術と介護者や要介護者のニーズのギャップ
- ・介護ロボットの制御等に課題がある
- ・ロボットが完全にスタッフの代用にならない



Interview

デイサービス おはな

- ・介護ロボット（補助器具）の導入は職員は楽になるが導入費用がかかる。年金制度を利用している利用者には負担が大きい。
- ・施設としては自立型のロボットというよりも介護者をアシストするアシスタント型のロボット（家事を手伝うようなもの）を欲している。
- ・レクリエーションの充実を求めている。利用者の娯楽の相手をするのは大変で、対戦してくれるようなものが欲しい。

山口大学教育学部 中田 充教授のアドバイス

- ・探究していくには「介護ロボット」の定義やイメージを決めることが大切。
- ・アンケート調査の代わりに、政府機関や研究所などが実施した調査報告書などを探すと良いかも。

Research

介護ロボットを普及させるためには資金問題がネックなのではないか

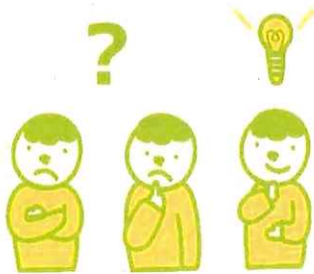
福祉用具カタログ：介護カタログには負担額があり、値段の1～3割を利用者が負担するようになっている。負担額は利用者の所得により変動する。

助成制度と補助制度：2つともお金を支給してくれる制度。補助制度は審査や採択件数の制限があるため助成制度に比べて受け取りづらい。2つとも様々な種類がある。

助成制度・補助制度の利用率と周知：制度利用者の増加が介護ロボット普及の鍵だと思ったが、制度の利用実態とどのくらい周知がなされているのかは、調べても出てこなかった。

Our Thoughts

介護ロボット導入に対する意識の変化



- ・介護ロボットについての探究活動を行ってみて最初はロボットがすべて介護をしたらいいと思ったけど、ロボットを導入するためのコストがかなりかかることや、介護される側は逆に人間にサポートしてほしいということも知ったので、介護ロボットのデメリットもたくさんあるのだと分かりました。
- ・施設利用者を補助する「自立型ロボット」よりも、掃除や洗濯など、介護以外の雑事を代わりにしてくれるロボットを導入するほうが、介護士と施設利用者の両方のニーズに合っており、実現のしやすさもある、ということが分かりました。
- ・日常生活を補助してくれるロボットの普及が必要であり、自分たちもこのようなロボット開発に携わっていきたいです。

#介護職員不足 #Society 5.0 #スマートシティ化 #ロボットとの共存(人間とのバランス)
参考：第50回日本老年医学会学術集会記録〈シンポジウムI：高齢者医療の現状と将来：介護の現場・医学・行政からのアプローチ〉





課題：経済的・社会的価値の実現



SDGsゲーム作成

- ・ すごろく
- ・ エシカル選択ゲーム
- ・ かるた
- ・ 絵柄合わせゲーム

↓

企業では新人研修、
中学生の職場体験フェアで使用



ゆめ花マルシェ

きらら浜で行われた
イベントに参加

天神まちかどフェスタ

学校の行事で実施



MARU-1グランプリ

サントリー・日清食品・
丸久と協働



活動内容

活動を通して

- ・ コミュニケーション能力が向上
- ・ 協力することの大切さを身に付けられた
- ・ SDGsの理解を深めることができた

協働性

各々の役割分担を決め効率よく、
さらに過去の先輩のデータを用いて
アイデアを出している

グループに分かれ、
課題に取り組みながら
意見交換をし合う

考えたことを意見交換し、
定期的にコミュニケーション
を図る

資質・能力

SDGsを地域の人に
分かりやすく、
自分の言葉で伝えることができる

活動を通して、学んだこと、
得たことなどが
自分自身の成長に繋がっている

自分が取り組まなければならない
ことを理解して、説明できる

大人の学び

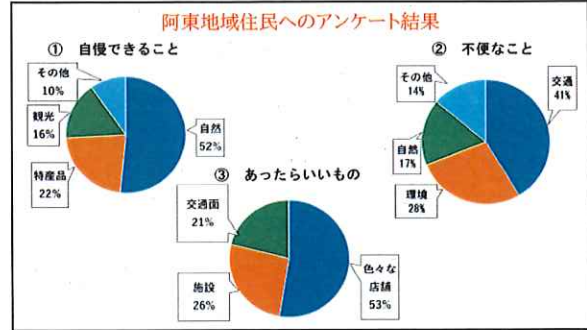
企業が高校生と一緒に振り返り
をすることで、新しい
発見を見出すことができる

高校生たちとイベントに
参加し、一緒にイベントを
盛り上げること

企業の活動を高校生に伝える

「徳佐未来学」の授業の中で、阿東地域における人口減少を食い止めるための具体的な取組を提案することを目的として、以下の3つの内容で探究活動を行いました。

① 移住者を増やす取組



○物質的な豊かさではなく、自然や人とのつながりなど精神的な豊かさが阿東地域の魅力であることを移住を検討する人に伝えていく

② 観光客を増やす取組

2班 阿東徳佐の観光調査
～徳佐の来客を増やすには?～

徳佐が活性化してほしい

- 人が多く集まることが重要!!
- 徳佐の良さを知ってもらおう
- 自分たちが徳佐の良さを知る
- 徳佐の様々な観光資源・施設を調査
- 集客に向けて何が出来るか?を考察
- 徳佐のPR動画を作成

実際に行った場所 → 13ヶ所

例えば、

- ラチスガーター橋...日本に3ヶ所しかない近代化遺産に指定されている貴重な橋。
- りんごの駅...りんごを使ったアイスクリームやアップルパイなどを販売している。

○あまり有名ではない観光資源・施設に焦点を当てて紹介するような動画を作成
○それぞれの観光資源のどのような部分を取り上げて紹介すれば魅力が伝えられるかを試行錯誤

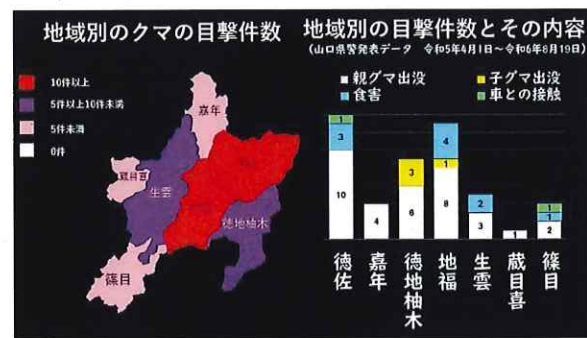
③ 獣害を軽減し、安全に暮らすことのできる環境をつくる取組

山口県のツキノワグマの目撃件数
過去最多目撃件数 2023年 444件

2024年(12月16日時点) 775件 (山口市では111件)
ツキノワグマによる被害を減らす

阿東地域の人たちが安心して暮らせるような地域になるのではないかと

目的
地域の方々に熊の被害を受ける可能性が高い場所を伝えるマップを作り、利用してもらえようとする。



○人が多く集まる「徳佐」や「地福」でもクマとの遭遇には注意が必要
○「徳地柚木」や「地福」では、子連れの母グマに注意
○「徳佐」や「篠目」といった地域を自動車移動の際には注意が必要

地域の方々の声

- 地元について思いをはせる良いきっかけになった。
- 自分自身も改めて阿東の課題について考えることができた。
- お店や交通網が不十分な面もあるが、精神的な豊かさを感じることでできる環境や人間関係が充実していることが、阿東地域の良いところではないか。

学んだこと

自然、文化、歴史を基盤とした精神的な豊かさ、心の豊かさが阿東地域の最大の魅力であり、このことを大切にしていけることが、阿東地域の人口減少を食い止め、地域自体を存続させていくことにつながるのではないかと。



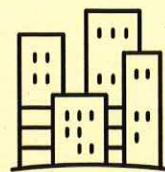
山口市の子育て施設について

1 目的

- ・ 山口市は、若年層が年々減少している
- ・ ニューヨークタイムズに選ばれたため、このチャンスを活かす

2 仮説

子育てのための
公共施設が整っていない
→人口が減少している



3 アンケート調査

(質問内容)

- 1 山口市で子育てする際の不満
- 2 子育てする上で欲しい施設

(調査場所)

山口市中心商店街

4 インタビュー調査

(インタビュー先)

やまぐち子育て福祉総合センター

Q 山口市の問題点は？

- 1 子どもを預かる場所の減少
- 2 保育士不足

5 提案

身近に遊べる×簡単に預けられる
夢の子育て施設建設へ



募金

地域への呼びかけ



スポーツも勉強も両方得意になるためには

1 目的

- ・ スポーツ選手はセカンドキャリアを広げてほしい、運動が苦手な人には運動に親しんでほしい
- ・ 両方の楽しさを知ってほしい

2 仮説

スポーツと勉強を一緒にできる場にしたら両方の楽しさがわかる

3 実践内容

教育の専門家に評価してもらう

4 実践結果

体育 ×



5 意見

スポーツに向き合ってきたので将来それを生かして生活できるのではないかと



スポーツが苦手な生徒も好きになる工夫をしている

6 目的変更

- ・ 考える力を伸ばすため
- ・ 興味の第一歩

7 提案

小学生の興味と教科とをかけあわせる
座って授業をする以外の方法を知ってもらう

背景・目的

- ・はだか麦は食物繊維の1種である**β-グルカン**を豊富に含むことから、近年スーパーフードとして注目されている。
- ・**美祢市**はハダカムギの生産量が**県内1位**である。

昨年度の研究から加工品にも多く含まれていることがわかった。



はだか麦

課題

- ・現在 需要量<生産量 の状況が続く。
 - ・稲作との二毛作を維持できなくなる。
- 農家の利益確保が困難になりはだか麦の生産量が減少する。

そこで **新たな需要拡大、認知度向上、安定生産** を目的としたプロジェクトに取り組んだ。

研究内容・結果

活動① 美祢市におけるPR活動

- ・関係機関のご協力のもと「**はだか麦の祭典**」を2年連続開催し、加工品を販売した。
- お客様の反応から**認知度向上**を実感。はだか麦を購入したいとの声も多数あり。



イベントに向けた試食会



はだか麦の祭典

活動② 美祢市外におけるPR活動

- ・山口農業高校、山口市商店街、森フェス(徳地)イオンタウン防府にてイベントを開催した。
- **美祢市以外の地域**で多くの方々に興味をもってもらえた。

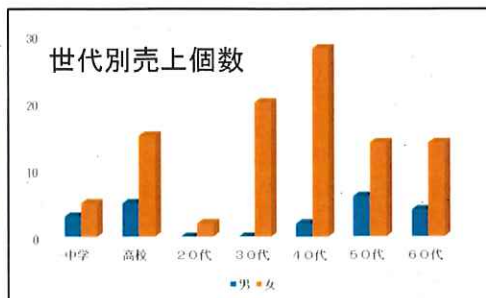


イベントでの販売の様子



活動③ 分析

- ・タブレット端末を用いてイベントでの顧客データを分析した。
- **健康志向の女性**の関心度が高く、**加工品**だと食べやすいと答えた方が多かった。



活動④ 企業との商品開発

- ・コープやまぐちとのコラボ商品 **はだか麦クッキー**の販売が決定！！
- 消費量の大幅な増加が見込まれ、**安定生産**の確保につながると考えられる。



意見交換の様子



商品案

まとめ・今後の展望

- ・これまでにない加工品を開発したことで新たな**需要を創造**し、**認知度向上**につながった。
- ・企業で商品が販売されることで需要量が増え、**生産体制も安定**すると考えられる。
- ・今後は地域内での生産・加工・消費のサプライチェーン化を目指す。





高齢者が安心して暮らせるまちづくり

山口県立宇部西高等学校

1. 知ってください！日本の課題



【校内での介護実習】 【介護技術コンテスト】

私たちにできることは？

- ふ** 高齢者虐待の増加～年間4万1,000件超の相談・通報
- く** 認知症高齢者の行方不明～年間1万9,000人超
- し** 介護人材の不足～2026年度には約25万人の不足

2. 多様な他者との協働的な学び

虐待を防ぐには？

なぜ行方不明に？

介護の魅力とは？

高齢者への理解を深め社会全体で支える

☆高齢者のことを知る



【地域交流会】

☆コミュニケーション能力の向上



【介護福祉士講話】

☆福祉サービスの理解



【サービスセンター実習】

認知症について正しく知り正しく接する

☆認知症を正しく知る



【地域包括支援センター講話】

☆声かけの実技演習



【認知症サポーター養成講座】

☆認知症高齢者の介護



【高齢者施設実習】

ありがたいがあふれるやりがいある仕事

☆介護の現場を知る



【高齢者施設訪問】

☆介護の魅力を知る



【福祉施設職員講話】

☆介護の魅力を発信



【施設実習発表会】

3. 結論

- (1) 認知症を正しく知り、社会全体で支えることが求められる。認知症の予防も重要。
- (2) 介護の魅力を多くの人が知ることで、介護人材の増加とその地位の向上が図られる。

4. アクション

全校生徒へ伝える

理解者の輪を広げる



【卒業研究発表会】

【クリスマスカード作成】

【ボランティア活動】



《参考文献等》
厚生労働省ホームページ、令和6年版高齢社会白書（内閣府）、令和5年における行方不明者の状況（警察庁）など



地震に耐えられる建物はどうやって作るのか

山口県立豊浦高等学校

地震が年中多発する、地震大国日本、全国の家の耐震性の向上が、地震による家の倒壊などの被害を減らす

仮説

“骨組みの形は三角形が一番強いのではないか”

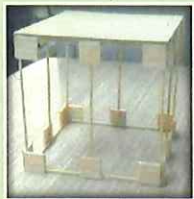
一般の家における骨組みの形でより強いものを模型による地震疑似実験を用いて見つけようと考えた。



模型 1
(骨組みなし)

実験手順

- 3つの模型を45×30cmの台に乗せ、揺らす際の慣性に耐えるようガムテープで底を固定する。
※模型の上に文鎮(1×1cm 240グラム)を1個乗せる
- メトロノームでBPMを変えることで台を揺らす間隔を測りながら手で揺らす。
※あらかじめ机にガムテープで目印をつけ揺らす幅を決めておく。
- ②で崩れた模型を省き、その他の文鎮を2個に増やして同様に行く。



模型 2
(長方形の骨組み)

実験の結果

表1 BPMを変えた時の模型の様子(文鎮1個) 単位: BPM

	60	90	120	150	176	200
模型 1	変化なし	少し揺れた	揺れた	多く揺れた	多く揺れた	崩れた
模型 2	変化なし	変化なし	少し揺れた	少し揺れた	少し揺れた	少し揺れた
模型 3	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし



模型 3
(三角形の骨組み)

表2 BPMを変えた時の模型の様子(文鎮2個) 単位: BPM

	120	150	176
模型 2	揺れた	多く揺れた	崩れた
模型 3	変化なし	変化なし	変化なし

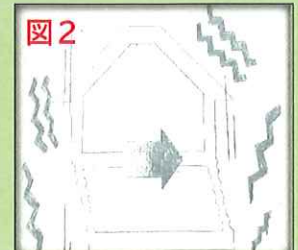
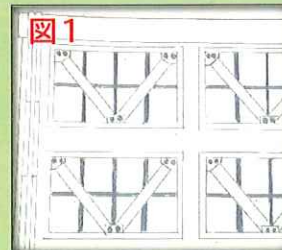
考察

実験結果で三角形の骨組みが揺れの速さ、屋根の重さに関係なく最も強いことがわかる。

	メリット	デメリット
模型 1	費用が抑えられる 組立に手間がかからない 遅い揺れなら耐えられる	早い揺れにとっても弱い
模型 2	縦揺れに強い 多少早い揺れに耐えられる	横揺れにあまり耐性がない 費用がかかる
模型 3	強度が強い 安定性が極めて高い デザイン性に長けている	費用が高額 組立に手間がかかる

三角形の骨組みは現在日本でも使われており、小学校の外骨組みや体育館天井の骨組みなどはブレース構造(トラス構造) <図1>と呼ばれる。

一般的な家では横揺れによって平行四辺形の形になろうとする。<図2>これをブレース構造は防ぎ、倒壊を阻止する。そして、三角形以外にも長所があるためその場に応じた対応が必要になるだろう。



<参考> ConMa (建築業者で働く人のための情報サイト) 2022トラス構造の種類とメリット・デメリットを解説! 身近な例も紹介 <https://conma.jp/conmaga/article/104377/>

本探究活動においては、山口大学工学部感性デザイン工学科 講師 秋田 友芳 先生に御多用の中、私たちのために、様々な御提案をいただきました。特に実験の方法・考察、まとめ方などについて御助言・御指導、御協力をいただきました。

1 目的

フードロスされる食材の代表として野菜が挙げられる。野菜の保存方法や美味しさの魅力を消費者に伝え、安全に調理するために保存方法や保存時期に応じた調理方法を研究する。また、生産者とコラボし、美味しさを全国に発信するため、SNS戦略を研究し、フードロス削減を目指す。

12

つくる責任
つかう責任

2 方針

1. 野菜ごとの保存方法や状態別調理法を研究する。
2. 生産者の視点から野菜の美味しさを高める方法をリサーチする。
3. フードロスを削減するために、消費者が関心を持つようにSNSを駆使して、広報戦略を練る。

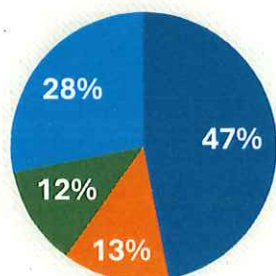
3 フードロスされる食材 ランキング

- 1位 もやし
- 2位 きゅうり
- 3位 キャベツ

4 アンケート結果

生徒を対象に、各家庭での食品保存に関する方法や引き継がれている保存の方法に関する調査結果

保存方法



■ 冷蔵庫、冷凍庫

■ ジップロック、タッパー、ラップ、新聞紙に包む

■ 塩漬け、砂糖漬け、酢漬け、ぬか漬け

■ その他

5 考察

- ・世代間の引継ぎがなく、サステナブルな方法もない
- ・野菜の鮮度や保存に関する知識が少なく、生産者の視点が必要

6 今後の展望1 (食品保存について)

1. 野菜の食品保存について研究をする。それぞれの野菜に応じた食品保存方法を試し、鮮度を維持する方法を実験する。

7 今後の展望2 (地元農家活性化について)

2. 地元農家で生産された食材を利用し、地元経済を活性化しながらフードロスを減らす。そのための広報戦略

地元農家を活用したコンテンツ戦略

1. 地元農家の紹介
生産者の保存方法やレシピ動画の作成
2. エモーショナルな動画の作成
3. プラットフォーム別戦略

Instagram

地元農家の作業風景や美しい写真を投稿
リール動画で簡単なレシピの作成

X

地元野菜の保存方法や調理法を投稿

TikTok

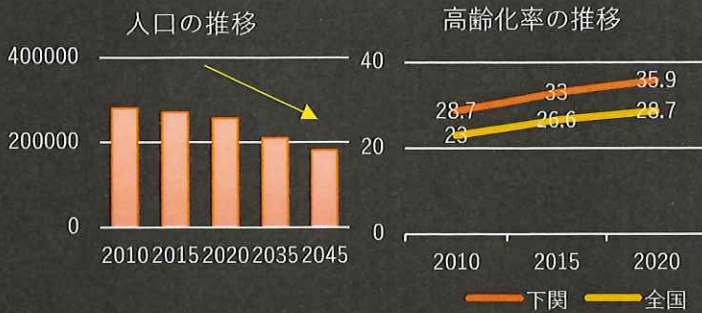
農家の作業風景やレシピをテンポよく発信



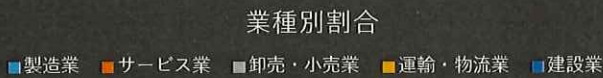
地元企業と協働したキャリア教育 ～地元の魅力を発見する旅～

山口県立下関工科高等学校

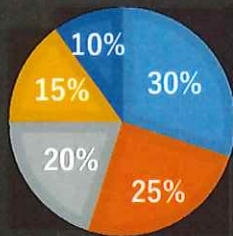
【下関の現状～人口について～】



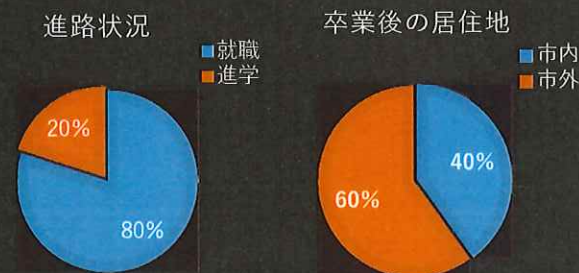
【下関の現状～企業について～】



製造業が約30%
建設業が約10%
↓
工業系の企業が40%も占めている。



【下関工科高校の進路状況】

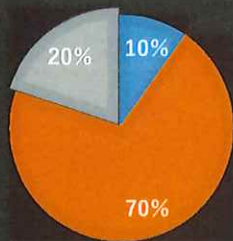


将来、下関に帰ってきますか？



市外に就職する生徒の内
80% 帰郷を考える
20% 帰郷しない

若い世代の帰郷が重要



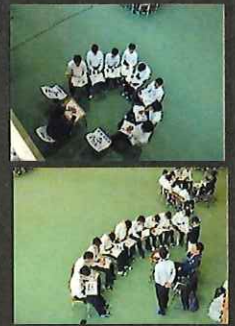
【ペーパータワーの制作】

学び
仲間と協働する大切さ
↓
作業効率アップ



話し合い
↓
コミュニケーション力UP

【進路探究～企業フェア】



下関にある23の企業と質疑応答などを行いました。
地元で働くことの意義や働く姿勢についても考える機会となりました。

学び 向いてないのではなく、わからないだけ。

→解決策を見つけるため常に考えることが必要

【フィールドワーク】

みどり園デイサービスセンター

目的 少子高齢化の中での問題点と対策を知る。

学び 職員に若い人が少なく働く人が少なかった。

介護職のメリットが他の業種に比べて少ない。

下関市立考古博物館

目的 公共施設と地域とのつながりを知る。

学び すべての人が楽しめる博物館を目指している。

トヨタカローラ山口

目的 車は地域とどのような関係があるのか。

学び 車は生活に不可欠。

公共交通の利用促進は、交通渋滞や環境負荷の軽減に寄与する。

三菱重工業株式会社 下関造船所

目的 造船所で働く魅力を知る。

学び 社員に対する福利厚生が厚い。



【提言】

交通インフラ バリアフリー
バス停の充実
自転車道、歩行者道の整備
交通アプリの開発

教育機関の増設 地元産業などに特化した学び
オンライン授業

情報発信 観光キャンペーン
ものづくりキャンペーン
機械工学科の造船コース



「仕事学」を通して考える、地域とわたしの未来

山口県立大津緑洋高等学校日置校舎

将来、どのような職業に就き、何ができるか？ 高校では何を学んでおくべきか？



(株)ミライクルラボ 渡邊涼太 様

- ・夢をかなえるための起業という道
- ・長門発！ビジネスアイデア
- 困りごとを解決するための手段

職業を考える視点

- (1) その分野で今困っていることや課題
- (2) 外部講師のお話で知った現状や課題
- (3) 困りごとや課題の解決のための具体策
- (4) 課題を解決できた理想の未来イメージ
- (5) 社会人になってその職業にどう取り組むか
- (6) 高校で学んでおくこと・身に付けたい力

保育分野

(1) 保育分野の課題

- ①人手不足
- ②少ない給料
- ③保育園での事故が多い
- ④ストレス



(1) ①人手不足 (厚生労働省子ども家庭局)



(1) ②少ない給料 (厚生労働省子ども家庭局)



(2) ①下関短期大学



(2) ②長門市立みのり保育園



(4) 理想の未来イメージ

- ①保育士志望者が増加
- ②給料が上がる
- ③ポジティブな印象
- ④みんなが笑顔



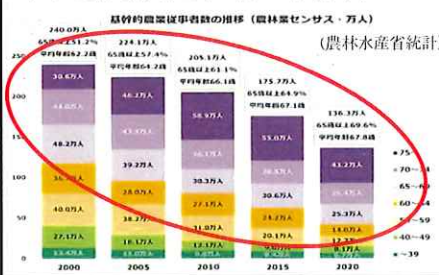
農業分野

(1) 農業分野の課題

- ①農業従事者の不足
- ②農業従事者の高齢化
- ③耕作放棄地の増加
- ④食料自給率の低下
- ⑤集落の減少



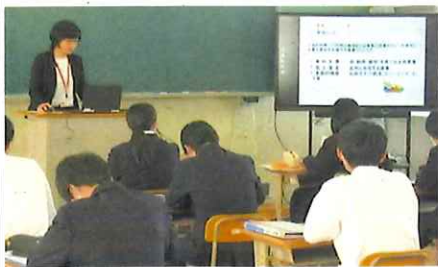
(1) ②農業従事者の高齢化 (農林水産省統計)



(1) ③耕作放棄地の増加



(2) ①山口県立農業大学校



(2) ②山口県立農業大学校



(4) 理想の未来イメージ

- ①農業従事者の増加
- ②環境に配慮した農業の進化
- ③集落の全ての農地で栽培
- ④集落で若者が生活
- ⑤食料自給率の増加





遊びの魅力で輝く阿武町！ ～かるたで魅力発信～

山口県立萩高等学校奈古分校

先行調査

阿武町の施策を広報「あぶ」及び阿武町まちづくり推進課へのインタビューにより調査

子育てに関する支援制度を早期に整備し、住民の生活環境の向上に努めている

- 園児の保育料の完全無償化
- 18歳までの医療費無償化
- 支援センター「おひさま」



関係人口「阿武町ファン」を増やす

- 各地域で行われる定住促進イベントに積極的に参加

探究テーマ

「阿武町ぶちえかったかるた」による阿武町の魅力発信

奈古分校マスコット
なごまる



子育て世代の支援に積極的な阿武町の魅力アピール



定住促進の各イベントでの宣伝ツールの創出

探究①：読札の創作

探究活動のキーワードは「ゲーミフィケーション」！

クイズ大会による魅力発見
クイズ作成を通じて阿武町の特徴を発見する活動を行う。魅力発見への貢献度ポイントを設定し、プレゼンに対するポイント報酬投票も実施！



カード組み合わせ読札創作

頭文字カードと自分たちで選んだ阿武町の魅力キーワードカードをそれぞれ引き、その組み合わせで、読み句を創作するというルールを設けて読札を考える！



探究②：絵札・読札のデザイン

- かるたの歴史を学び、市販のかるたを試遊
魅力的なかるたの特徴を分析する
- 分析をもとに絵札を作成
句ごとに担当を決め、互いにアドバイス
読み句の詳細も適宜共有



○絵札の例

○読み札の例



阿武町の特産品キウイをイメージした色合いに

探究③：CM制作（広報活動）

「阿武町ぶちえかったかるた」を題材にしたCM動画を制作



道の駅阿武町を詠った読札を中心にCMを制作



CM制作はパワーポイントを使用し、先生方に意見をいただきながら編集を進め、30秒CM完成！

完成したCMはTYSふるさとCM大賞に出品

今後の展望

- ①「阿武町ぶちえかったかるた」の完成に向けて、地域の方々に取材を行い、阿武町の特徴をさらに発見し、内容の充実を図る
- ②近隣の保育園の園児と共にプレテストを行い、園児でも楽しく遊べる絵かるたに仕上げる
- ③定住促進の各イベントで阿武町の特徴を知ってもらうためのツールとして活用してもらう

